

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服政策研究事業）  
分担研究報告書

急性肝炎の診療実態に関する多施設対象アンケート調査

研究分担者 堤 武也 東京大学医学部附属病院感染制御部 教授  
研究協力者 奥新 和也 東京大学医学部附属病院感染制御部 特任講師（病院）

研究要旨 本研究班では、感染症法に基づいて届出された急性肝炎症例の解析、およびレセプトデータを基盤とする医療経済ビッグデータを用いた急性肝炎症例の解析を実施することで、急性肝炎の発生状況を調査している。

これらの集約された情報に対して、本研究では実際の医療現場へのアンケート調査を行い、得られる情報を分析・比較することで、疫学情報の精度の検証および向上を主たる目的とした。さらに B 型および C 型肝炎の伝播様式として性感染症の側面が大きくなってきていることをふまえて、急性肝炎症例に対する性感染症の精査実施状況についても併せて調査を実施している。

#### A. 研究目的

“肝炎の予防”は本研究班の主たる目標の一つと定められている。急性肝炎の多くは肝炎ウイルスの新たな感染に伴って生じるため、その発生状況に関する正確な情報を把握し、施策を講じることは、肝炎対策において重要である。

本研究班では、感染症法に従って届出された急性肝炎症例の解析、およびレセプトデータを基盤とする医療経済ビッグデータを用いた急性肝炎症例の解析を実施することで、急性肝炎の発生状況を調査している。

これらの集約された情報に対して、本研究では実際の医療現場へのアンケート調査を行い、得られる情報を分析・比較することで、疫学情報の精度の検証および向上を主たる目的とした。さらに B 型および C 型肝炎の伝播様式として性感染症の側面が大きくなってきていることをふまえて、急性肝炎症例に対する性感染症の精査実施状況についても併せて調査することを目的とした。

#### B. 研究方法

全日本病院協会所属医療機関に対して急性肝炎の診療実態に関するアンケート調査

を行う。

（倫理面への配慮）

アンケート調査に先立って所属研究機関（東京大学大学院医学系研究科・医学部）の研究倫理支援室に問い合わせを行った。本アンケートは対象が医療機関であり、患者の個人情報を扱わないので倫理審査は不要との判断を得ている。

#### C. 研究結果

アンケート内容について、疫学および肝炎・感染症の専門家と協議を行った。下記に示す内容を含むアンケートの書面について確定することができ、現在アンケート調査を実施中である。

過去 4 年間（2019 年 1 月 1 日から 2022 年 12 月 31 日）における B 型急性肝炎について以下に回答をお願いします。

設問 1. 全診療件数をご回答願います。

- 2019 年: 全体 件（うち男性 件）
- 2020 年: 全体 件（うち男性 件）
- 2021 年: 全体 件（うち男性 件）
- 2022 年: 全体 件（うち男性 件）

(追加設問) 可能であれば年齢分布をご回答お願いします。

● 2019年：20歳未満 件、20歳代 件、30歳代 件、40歳代 件、50歳代 件、60歳以上 件

● 2020年：20歳未満 件、20歳代 件、30歳代 件、40歳代 件、50歳代 件、60歳以上 件

● 2021年：20歳未満 件、20歳代 件、30歳代 件、40歳代 件、50歳代 件、60歳以上 件

● 2022年：20歳未満 件、20歳代 件、30歳代 件、40歳代 件、50歳代 件、60歳以上 件

設問 2. 入院症例数と退院時転帰をご回答お願いします。

● 2019年：入院加療 件 (うち男性 件)

治癒・軽快 件、不変 件、増悪 件、死亡 件

● 2020年：入院加療 件 (うち男性 件)

治癒・軽快 件、不変 件、増悪 件、死亡 件

● 2021年：入院加療 件 (うち男性 件)

治癒・軽快 件、不変 件、増悪 件、死亡 件

● 2022年：入院加療 件 (うち男性 件)

治癒・軽快 件、不変 件、増悪 件、死亡 件

設問 3. 施設および診療内容についてお伺い致します。

設問 3-1. 肝臓専門医は在籍していますか？

はい いいえ

設問 3-2. B型急性肝炎の届け出は実施されていますか？

全例報告している 50%以上 50%未満 全くしていない

設問 3-3. B型急性肝炎を診断された際に、HBV genotype 検査は実施されますか？

全例検査している 50%以上 50%未満 全くしていない

設問 3-4. B型急性肝炎を診断された際に、HIV 検査は実施されますか？

全例検査している 50%以上 50%未満 全くしていない

設問 3-5. B型急性肝炎を診断された際に、性感染症検査 (梅毒など) は実施されますか？

全例検査している 50%以上 50%未満 全くしていない

#### D. 考察

急性肝炎の診療実態に関する実地医療機関向けのアンケートが進行中である。B型およびC型肝炎ウイルスによる急性肝炎は、感染症法における五類感染症に位置付けられ全数把握の対象となっているが、真の発症数と届出数の正確な割合を把握する方法はない。また、レセプト等の医療情報データベースにおいてはB型およびC型肝炎の病名は特に入院症例においては比較的正確に付与されていると考えられるが、検査結果が明らかではないことから、検査に際して付記された保険病名の問題や、外来で経過観察となった症例における病名の正確性など課題が残る。これらの点を補完する目的で今回実地医療機関へのアンケート調査を計画した。また、B型およびC型肝炎の伝播様式として性感染症の側面が大きくなってきていることをふまえて、急性肝炎症例に対する性感染症の精査実施状況についても併せて調査を行った。現在アンケートを実施中であり、結果を集計して報告したい。

#### E. 結論

急性肝炎の診療実態に関する医療機関向けのアンケート調査が進行中である。

F. 健康危険情報  
なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- [1] R. Uraki, M. Ito, Y. Furusawa, S. Yamayoshi, K. Iwatsuki-Horimoto, E. Adachi, M. Saito, M. Koga, T. Tsutsumi, S. Yamamoto, A. Otani, M. Kiso, Y. Sakai-Tagawa, H. Ueki, H. Yotsuyanagi, M. Imai, and Y. Kawaoka, "Humoral immune evasion of the omicron subvariants BQ.1.1 and XBB," *Lancet Infect Dis*, vol. 23, no. 1, pp. 30-32, Jan, 2023.
- [2] E. Takashita, S. Yamayoshi, P. Halfmann, N. Wilson, H. Ries, A. Richardson, M. Bobholz, W. Vuyk, R. Maddox, D. A. Baker, T. C. Friedrich, D. H. O'Connor, R. Uraki, M. Ito, Y. Sakai-Tagawa, E. Adachi, M. Saito, M. Koga, T. Tsutsumi, K. Iwatsuki-Horimoto, M. Kiso, H. Yotsuyanagi, S. Watanabe, H. Hasegawa, M. Imai, and Y. Kawaoka, "In Vitro Efficacy of Antiviral Agents against Omicron Subvariant BA.4.6," *N Engl J Med*, vol. 387, no. 22, pp. 2094-2097, Dec 1, 2022.
- [3] E. Adachi, M. Saito, M. Koga, T. Tsutsumi, and H. Yotsuyanagi, "Favorable Outcome Following Sotrovimab Monoclonal Antibody in a Patient with Prolonged SARS-CoV-2 Omicron Infection with HIV/AIDS," *Intern Med*, vol. 61, no. 22, pp. 3459-3462, Nov 15, 2022.
- [4] Y. Yamaoka, M. Sasai, Y. Suehiro, S. Hashimoto, A. Goto, N. Yamamoto, N. Suzuki, S. Higaki, I. Fujii, C. Suzuki, T. Matsumoto, T. Hoshida, M. Koga, T. Tsutsumi, L. A. Lim, Y. Matsubara, S. Tomochika, S. Yoshida, S. Hazama, H. Yotsuyanagi, H. Nagano, I. Sakaida, T. Takami, and T. Yamasaki, "Comparison of two primer-probe sets of *Fusobacterium nucleatum* using droplet digital polymerase chain reaction for the detection of colorectal neoplasia from faecal samples," *Ann Clin Biochem*, vol. 59, no. 6, pp. 396-403, Nov, 2022.
- [5] H. Nagai, M. Saito, E. Adachi, Y. Sakai-Tagawa, S. Yamayoshi, M. Kiso, T. Kawamata, M. Koga, Y. Kawaoka, T. Tsutsumi, and H. Yotsuyanagi, "Casirivimab/Imdevimab for Active COVID-19 Pneumonia Which Persisted for Nine Months in a Patient with Follicular Lymphoma during Anti-CD20 Therapy," *Jpn J Infect Dis*, vol. 75, no. 6, pp. 608-611, Nov 22, 2022.
- [6] T. Mizutani, A. Ishizaka, M. Koga, T. Tsutsumi, and H. Yotsuyanagi, "Role of Microbiota in Viral Infections and Pathological Progression," *Viruses*, vol. 14, no. 5, May 1, 2022.
- [7] P. J. Halfmann, M. Kuroda, T. Armbrust, J. Theiler, A. Balaram, G. K. Moreno, M. A. Accola, K. Iwatsuki-Horimoto, R. Valdez, E. Stoneman, K. Braun, S. Yamayoshi, E. Somsen, J. J. Baczenas, K. Mitamura, M. Hagihara, E. Adachi, M. Koga, M. McLaughlin, W. Rehrauer, M. Imai, S. Yamamoto, T. Tsutsumi, M. Saito, T. C. Friedrich, S. L. O'Connor, D. H. O'Connor, A. Gordon, B. Korber, and Y. Kawaoka, "Characterization of the SARS-CoV-2 B.1.621 (Mu) variant," *Sci Transl Med*, vol. 14, no. 657, pp. eabm4908, Aug 10, 2022.
- [8] R. Uraki, M. Kiso, S. Iida, M. Imai, E. Takashita, M. Kuroda, P. J. Halfmann, S. Loeber, T. Maemura, S. Yamayoshi, S. Fujisaki, Z. Wang, M. Ito, M. Ujie, K. Iwatsuki-Horimoto, Y. Furusawa, R. Wright, Z. Chong, S. Ozono, A. Yasuhara, H. Ueki, Y. Sakai-Tagawa, R. Li, Y. Liu, D. Larson, M. Koga, T. Tsutsumi, E. Adachi, M. Saito, S. Yamamoto, M. Hagihara, K. Mitamura, T. Sato, M. Hojo, S. I. Hattori, K. Maeda, R. Valdez, M. Okuda, J. Murakami, C. Duong, S. Godbole, D. C. Douek, K. Maeda, S. Watanabe, A. Gordon, N. Ohmagari, H. Yotsuyanagi, M. S.

Diamond, H. Hasegawa, H. Mitsuya, T. Suzuki, and Y. Kawaoka, "Characterization and antiviral susceptibility of SARS-CoV-2 Omicron BA.2," *Nature*, vol. 607, no. 7917, pp. 119-127, Jul, 2022.

[9] E. Adachi, E. Nagai, M. Saito, M. Isobe, T. Konuma, M. Koga, T. Tsutsumi, Y. Nannya, and H. Yotsuyanagi, "Anti-spike protein antibody titer at the time of breakthrough infection of SARS-CoV-2 omicron," *J Infect Chemother*, vol. 28, no. 7, pp. 1015-1017, Jul, 2022.

[10] T. Mizutani, A. Ishizaka, M. Koga, K. Ikeuchi, M. Saito, E. Adachi, S. Yamayoshi, K. Iwatsuki-Horimoto, A. Yasuhara, H. Kiyono, T. Matano, Y. Suzuki, T. Tsutsumi, Y. Kawaoka, and H. Yotsuyanagi, "Correlation Analysis between Gut Microbiota Alterations and the Cytokine Response in Patients with Coronavirus Disease during Hospitalization," *Microbiol Spectr*, vol. 10, no. 2, pp. e0168921, Apr 27, 2022.

[11] K. Ikeuchi, K. Okushin, M. Saito, E. Adachi, T. Tsutsumi, T. Takura, and H. Yotsuyanagi, "Prevalence of HIV infection among non-elderly individuals with hepatitis C in Japan: a population-based cohort study using a health insurance claim data," *BMC Infect Dis*, vol. 22, no. 1, pp. 167, Feb 21, 2022.

[12] E. Adachi, M. Saito, H. Nagai, K. Ikeuchi, M. Koga, T. Tsutsumi, and H. Yotsuyanagi, "Transient depletion of T cells during COVID-19 and seasonal influenza in people living with HIV," *J Med Virol*, vol. 94, no. 5, pp. 1789-1791, May, 2022.

2. 学会発表  
特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得  
該当なし

2. 実用新案登録  
該当なし  
3. その他  
該当なし